

<資料>

長野県産シダ植物の新産地 (2)

上野 勝典* 上野由貴枝*

New localities of some pteridophytes in Nagano Prefecture II

Katsunori UENO and Yukie UENO

I はじめに

既存の文献(松本市1996, 塩尻市誌編集委員会1991, 清水 1997)に分布情報の記載がなかったシダ植物について, 前報(上野・上野 2004)に引き続いて報告する。本報告中の標本番号の記載が無いものについては, 目視および写真による記録である。また, 前報で報告したシダ植物のうち標本採取をおこなったものは, 最後にまとめて標本番号を記載した。同定においては「日本の野生植物 シダ」(岩槻 1992)と「信州のシダ」(大塚 2004)を主に参考にし, 大塚孝一氏に標本の同定をしていただいた。なお, 標本の採集者は, 上野勝典・上野由貴枝である。

II 松本市新産の植物

(1) ゲジゲジシダ (ヒメシダ科)

Thelypteris decursive-pinnanta

里山辺湯の原 700m 2004年6月27日 SHIN63393

人家近くの小さな溪流脇のスギ林下に, リョウメシダとともに自生していた。数m四方に10株程度が確認できた。本種は小型の暖地性シダで, 天竜村などの県南部では道路脇の法面などに多数生育している。しかし寒冷地域でもまれに確認できることがあり, 2004年11月には, 塩尻市の釜の沢でも数株確認した。

(2) サカゲイノデ (オンシダ科)

Polystichum retroso-paleaceum

大嵩崎 920m 2004年7月2日 SHIN63398

林道脇のスギ林下で, 一株確認した。本種は県北部で比較的良好に見られるイノデ類であるが, 松本周辺では近似のツヤナシイノデやイワシロイノデが多く, サ

カゲイノデはあまり見られない。ツヤナシイノデに比べて, 中軸の鱗片が逆向きに密着するように付き, 羽片はより繊細な感じがする。

(3) オオヒメワラビ (イワデンダ科)

Deparia okuboana

大嵩崎 920m 2004年7月2日 SHIN63399

水がほとんど流れないような溪流沿いのスギ林緩傾斜地内に, 数10株ほどが50m程度の範囲で旺盛に生育していた。

(4) オニゼンマイ (ゼンマイ科)

Osmunda claytoniana

美ヶ原台上 1970m 2004年7月3日

牧場の牛避け柵沿いの日当たりが良い遊歩道で確認した。ヤマドリゼンマイに似ているが, 胞子葉が栄養葉の途中からついており, 区別できた。近隣の高ボッチ高原周辺では多い。ヤマドリゼンマイと混生して大きな群落をつくることもある。

(5) イッポンワラビ (イワデンダ科)

Cornopteris crenuloserrulata

中山牛伏寺 1050m 2004年7月19日

松本市では標高が1000m以上の湿った林下では比較的良好に見かけるがこれまでに記録がなかった。溪流横の急斜面落葉広葉樹林下で10株程がまとまって生えていた。

(6) ミゾシダ (ヒメシダ科) *Stegnogramma pozoi*

浅間温泉 970m 2004年10月24日 SHIN63403

下層植生がほぼ欠落したスギ林下に5株程度が確認されたが, 生育状態は悪く胞子葉を確認することはできなかった。本種は人家近くで比較的良好に見られるが, 松本市では見かけたことがなかった。中軸は濃い紫色で溝が無く, 毛が密生する。

(7) ウサギシダ (イワデンダ科)

* 上野勝典・上野由貴枝 〒399-0011 松本市寿北2-2-38

Gymnocarpium jessoense

入山辺三城 1580m

『長野県植物誌』にアオキガハラウサギシダの標本記録が記載されている。前報(上野・上野 2004)で、ウサギシダを松本市新産として報告したが、大塚孝一氏による標本の同定の結果、松本市三城及び崖の湯で確認したウサギシダは、第2羽片の葉柄が出ることからアオキガハラウサギシダとされた。

しかし、本年7月に三才山本沢で確認したものは、同氏の同定によりウサギシダと確認されたので、改めて報告する。

*「三城」のウサギシダ(上野・上野 2004)

→アオキガハラウサギシダ SHIN63400

*「崖の湯」のウサギシダ(上野・上野 2004)

→アオキガハラウサギシダ SHIN63401

*三才山本沢 1130m ウサギシダ 2004年7月4日 SHIN63402

(8) オオクジャクシダ(オンダ科)

Dryopteris dickinsii

大嵩崎 920m 2004年2月28日 SHIN63405

暖地性の常緑シダとされるが、比較的寒いところでも見られる(大塚 2001)。今回確認した場所ではスギ林下に3株ほどが散在していた。このほか、市内中山(700m)でもスギ林下で1株確認した(2004年12月25日)。なお本種については、塩尻市内でも2004年4月に新産として確認された。

(9) サイゴクイノデ(オンダ科)

Polystichum pseudo-makinoi

中山 700m 2004年12月19日 NAC142733

スギ林下の湿ったところに数m四方、10株程度がまとまって自生していた。本種は、暖地性のシダで県南部に分布し、葉面は艶がなく、孢子囊群は片縁寄りにつき、耳に優先して付く。鱗片の辺縁はイノデモドキのように切れ込まず、基部のものは黒い色が混じる。

なお生育地は、オンダ、ホソバナライシダ、オクマワラビ、ヤマヤブソテツが優占しており、リョウメンシダ、ベニシダ、オオクジャクシダ、コタニワタリなど、これまで松本市内であまり観察できなかったシダがまとまって確認された。この原因として、松本市内でも低標高域にスギ林が残されているためと判断した。

III 塩尻市新産の植物

(1) アカハナワラビ(ハナヤスリ科)

Botrychium nipponicum

床尾 850m 2004年3月14日 SHIN63381

スギ林下に、一株のみが見られた。オオハナワラビと似て鋸歯が鋭く、冬に全体が赤くなる。孢子囊穂は出ていなかった。本種は松本市でも大嵩崎で数株確認している。

(2) オオクジャクシダ(オンダ科)

Dryopteris dickinsii

宗賀尾沢 920m 2004年4月8日 SHIN63377

スギ林下の細い溪流沿い斜面に、1株のみが孤立して生えていた。

(3) エゾデンダ(ウラボシ科)

Polypodium virginianum

宗賀尾沢 1080m 2004年4月8日 SHIN63375

比較的乾いた岩場の上部に20cm程度の塊で着生しているのを見つけた。オシャグジデンダと良く似ているが、裏側の中軸に毛が無く、孢子囊群は縁寄りに付くことで区別できる。また、オシャグジデンダは乾くと丸く縮まるが、エゾデンダは丸くならない。そのほか、筆者の観察では、樹木に着生することは稀で、葉面の色が黄緑色で葉柄が長めであった。エゾデンダは美ヶ原周辺や乗鞍高原付近では比較的良好に見られるが、標高の低い地域では希である。

なお、他に小山泰弘氏が塩尻市上西条の聖人岩付近でエゾデンダを採集している(SHIN63362)。

(4) ナガオノキシノブ(ウラボシ科)

Lepisorus thunbergianus var. *angustus*

上小曾部小曾部川上流 1110m 2004年5月3日 SHIN63373

小曾部川上流の支流途中の大きな岩場に、オシャグジデンダなどとともに着生していた。ナガオノキシノブは、ノキシノブよりもやや標高が高く寒いところに生育している。羽片の先が長く伸びる特徴を持っている。

(5) アスヒカズラ(ヒカゲノカズラ科)

Lycopodium complanatum

宗賀釜の沢 1000m 2004年4月17日 SHIN63385

石のゴロゴロした斜面に数m程度に渡ってわずかに生育していた。美ヶ原の標高1,000m以上では、地面を被うように旺盛に生育している。

(6) ヤマソテツ(キジノオンダ科)

Plagiogyria matsumureana

上小曾部小曾部川上流 1400m 2004年5月30日

ヤマソテツは比較的雪の多く標高の高いところに生育しており、北アルプスや県北部では群生しているが

松本市や塩尻市では記録がなかった。小曾部川上流の支流上部の、溪流脇急斜面にササに混じて10株程度が散在していた。

(7) イワカゲワラビ (オンシダ科)

Dryopteris laeta (写真1)

大芝山 1150m 2004年7月24日 SHIN63384

落葉広葉樹林の急斜面、約10m 四方にわたって10株程度が点在していた。本種は、長野県では絶滅危惧II類に分類される貴重なシダで(長野県 2002)、全国的にも環境庁絶滅危惧I B類に分類されており(矢原2003)、北海道、岩手、長野と分布が隔離的となっている。本種は美ヶ原付近の大きな群落と比べると生育状態が悪い印象を持った。本種の生育地は、石灰岩の露頭が多くクモノスダなどの好石灰岩植物が多く認められる。



写真1 イワカゲワラビ

塩尻市下西条 2004年7月24日

(8) ウチワゴケ (コケシノブ科)

Crepidomanes minutum

宗賀釜の沢 890m 2004年4月17日 SHIN63388

スギ林下の急斜面の岩場に30cm 四方の小さい塊で生育していた。釜の沢を踏査したところ、ホソバコケシノブやコウヤコケシノブが見られる岩場数ヶ所で自生が確認できた。本種は暖地性のシダで、塩尻市、松本市での記録は無かった。なお数年前に、松本市の舟ヶ沢で1mほどの岩に着生していたものは、洪水等の影響で現在は確認できなかった。

(9) イノデモドキ (オンシダ科)

Polystichum tagavanum (写真2)

宗賀釜の沢 890m 2004年11月13日 SHIN63386

スギ林下に10株程度が10m 四方に渡って散在していた。本種は暖地性の常緑シダで、孢子嚢群が片縁寄り



写真2 イノデモドキ

塩尻市宗賀釜の沢 2004年11月13日

に付き、鱗片は薄い褐色で縁が糸状に細かく裂けている。大きいものと小さいものが混在しており、生育状態は良好である。本種が確認された地域は、ゲジゲジシダ、ウチワゴケ、ヒメワラビ、コウヤコケシノブ、ウスヒメワラビ、ナンゴクナライシダ、リョウメンシダなどの暖地性のシダが多く出現していた。

(10) ヒメワラビ (ヒメシダ科) *Thelypteris torresiana*

宗賀釜の沢 890m 2004年11月13日 SHIN63387

林道法面の岩場に一株のみが見られた。県南部では比較的普通にみられる暖地性のシダである。ミドリヒメワラビによく似ているが、羽片がより黄緑色で小羽片に柄がなく軸に流れていることなどから区別される。

(11) ヒメサジラン (ウラボシ科)

Loxogramme graminoides

宗賀釜の沢 890m 2004年11月28日 NAC142735

溪流そばの岩場に数枚の葉をつけた深山性のヒメサジランを見つけた。同じ岩にはチチブホラゴケも生育していた。全国的に分布するが稀で、深山の樹木や岩場に着生し、以前松本市犀温泉や島々谷で観察している。これまでの記録では塩尻市内での記録はないものの、1977年8月7日に村松正雄氏が塩尻市で撮影した写真が『日本の野生植物 シダ』(岩槻 1992)に掲載されている。

釜の沢では、小さな場所の違いで暖地性のシダが多く生育する場所と、本種をはじめチチブホラゴケ、オシダジデンド、カラクサンダなどの深山性のシダが生育する場所がある。小さな谷であるが、複雑な環境を有していると考えられた。

IV その他の地域

長谷村のチチブホラゴケ (コケシノブ科)

Crepidomanes schmidtianum

巫女淵 2004年 9月19日 SHIN63391

石灰岩の急斜面の岩場下部に、ホソバコケシノブなどとともに生えていた。本種はハイホラゴケの仲間で根茎に褐色の毛を密生させ、孢子囊群がラッパ状で、縁が切れ込む特徴がある。長野県では絶滅危惧 I B 類に分類される貴重なシダである（長野県 2002）。しかし、形態がコケシノブに良く似ていることから、これまであまり見つかっていないのではないかとと思われる。本種は大鹿村、塩尻市及び辰野町で記録されている（清水 1997）。

V 前報告の標本

前報（上野・上野 2004）で報告したシダ植物の中で、上記に記載した以外の種について標本採取を行い、整理したので報告する。

- ・カラクサシダ 松本市扉温泉 SHIN63395
- ・チャセンシダ 松本市扉温泉 SHIN63394
- ・リョウメンシダ 松本市里山辺 SHIN63406
- ・オサシダ 松本市三才山本沢 SHIN63396
- ・ミツデウラボシ 松本市三才山中ノ沢 SHIN63397
- ・コタニワタリ 松本市中山 NAC142734
- ・イワイタチシダ 塩尻市洗馬上組 SHIN63379
- ・コウヤコケシノブ 塩尻市宗賀釜の沢

SHIN63392

- ・トヨグチイノデ 安曇村白骨温泉 SHIN63390

謝 辞

観察に一部同行いただいた小山泰弘氏と、シダ植物の同定を頂いた長野県環境保全研究所の大塚孝一氏に感謝の意を表します。また、両氏より本報告の作成にあたり、貴重な助言をいただき、重ねて心より感謝いたします。

引用文献

- 上野勝典・上野由貴枝（2004）長野県産シダ植物の新産地。長野県植物研究会誌，37：45-48。
- 岩槻邦男 編（1992）日本の野生植物 シダ。平凡社。
- 大塚孝一（2001）長野県のシダ植物雑記(9)。長野県植物研究会誌，34：35-40。
- 大塚孝一（2004）信州のシダ。ほおずき書籍。
- 矢原徹一 監（2003）絶滅危惧植物図鑑レッドデータプランツ。山と溪谷社。
- 塩尻市誌編纂委員会（1991）塩尻市誌。第一巻 自然。
- 清水建美 監（1997）長野県植物誌。信濃毎日新聞社，長野。
- 長野県（2002）長野県版レッドデータブック。維管束植物編。
- 松本市（1996）松本市史。第一巻 自然編。